

## 1 策定にあたって

### (1) 趣旨

- 平成13(2001)年に「生涯学習社会“ぎふ”をめざして」を策定し、以降、19年、24年、29年と指針を策定し、市町村をはじめ各関係機関と連携しながら、各種施策を展開
- 人々の生き方や価値観の多様化への対応
  - ・人生100年時代、人口減少、地域経済の縮小や担い手の減少等社会情勢の変化への対応、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取り組みの推進等
  - ・地域社会における人と人とのつながりの希薄化など社会的孤立の拡大、新型コロナウイルス感染症を契機とした地域社会の学びを通じた地域住民の交流機会確保
- 「地域づくり型生涯学習」の取り組みの必要性
  - ・平成19年から継続して取り組んできた「地域づくり型生涯学習」は、地域の理解を得て全市町村が必要と認識
- 今後の課題
  - ・新型コロナウイルス感染症などの状況下においても、継続的な学びが行えるようICTを活用した取り組みの推進
  - ・住民相互のつながりによる持続可能な地域を目指し、世代を超えた取り組みの支援
  - ・地域課題解決のための協働活動を推進する人材の育成

### (2) 位置づけ

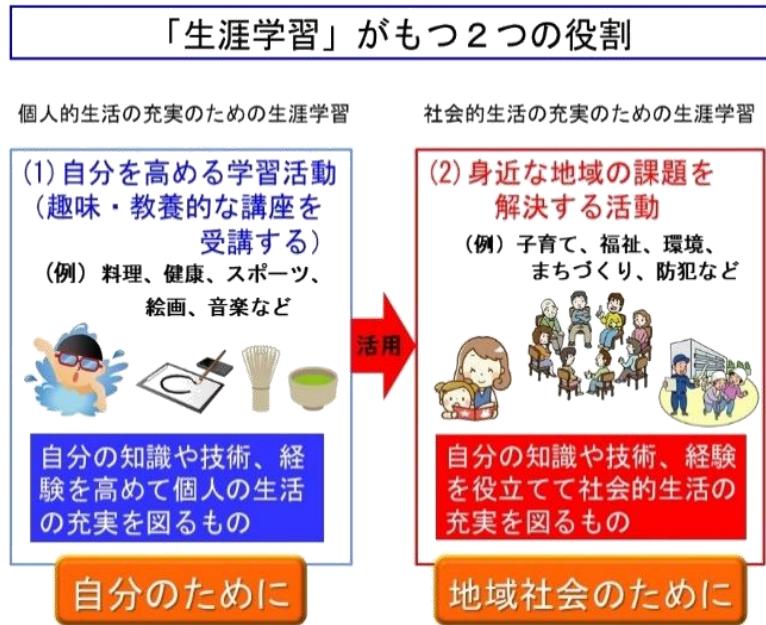
教育基本法における生涯学習の理念や国の教育振興基本計画を踏まえ、本県における生涯学習振興の基本的な考え方及び施策の方向性を示すもの

## 2(1) 基本理念

「地域づくり型生涯学習」の学びの輪がつなぐ  
「清流の国ぎふ」の豊かな未来

### 地域づくり型生涯学習

個人が生涯学習を通じて身に付けた知識・技術・経験等を、防災・防犯、子育て支援、青少年育成、高齢者福祉、環境美化、伝統文化の継承、街づくり等の地域課題の解決のために役立てていく生涯学習



## 2(2) 基本方針

### (1) 多様な学びの一步づくり

生涯にわたり、あらゆる世代・主体が学ぶための機会・情報の提供など

### (2) 「清流の国ぎふ」を支えるつながりづくり

「清流の国ぎふ」の魅力を知る学びによる地域コミュニティを支えるつながりづくりなど

### (3) 持続可能な社会を支える地域づくり

地域実態に応じ、連携・協働した地域課題の解決による地域の形成など

## 2(3) 施策の方向性

- ・人生100年時代に向けた多様な学びの支援 ・継続的な学びの推進
- ・地域づくりにつながる人と人との学びの推進 ・つながりづくりを担う人材の育成
- ・地域・学校・家庭の連携・協働活動の推進 ・社会教育施設の学習・交流拠点としての活動の充実

## 3 各主体に期待される役割

個人	生涯学習を通じて身に付けた知識・技術等を地域課題解決に活かす
団体	地域のつながりの維持・拡大のための活動に取り組む
学校	地域との連携・協働を進め、子どもたちが社会と関わるきっかけを作る
大学等高等教育機関	リカレント教育を拡充し、ICT活用により多様な人々に質の高い高等教育を受ける機会を提供する
企業	SDGsの実現に向け積極的に取り組む 従業員のワークライフバランスを推進し、従業員に学びの機会を提供する
社会教育施設	多様な地域住民のニーズに対応し、運営の充実を図る 住民参加による課題解決に向け、住民の学習と活動の支援機能を強化する
市町村	住民の学びのニーズ・地域課題を把握し、学びの活動をコーディネートする人材を養成・発掘するとともに、社会教育主事・士等を活用する
県	岐阜県生涯学習振興指針を策定し、今後重視すべき事項を明確にしたうえで、各主体への情報提供や相互連携を促進し、施策の総合的推進を図る

## 4 施策の推進

- (1) 推進体制 岐阜県生涯学習審議会における審議、各主体が役割を担いながら連携・協働
- (2) 進行管理 全庁的な取組推進のための進行管理・審議会における評価、市町村や生涯学習施設における現状把握